

事業所名

子どもデイ チャイルドハウスふぁむ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2025年

3月

4日

法人（事業所）理念		子どもたちが家族の輪の中でしっかり守られて成長していくために、療育を通してその輪を作っていくお手伝いをしていく						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・学校や福祉サービスに楽しく通い安定した生活が送れるよう関係機関と連携を取りながら見守っていく ・ご家族の心配事に対応し、必要な支援や情報を提供していく 						
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ①健康状態の把握 ②健康の増進 ③基本的な生活スキルの獲得 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ①姿勢と運動・動作の基本的技術の向上 ②姿勢保持と運動、動作の補助手段の活用 ③身体の移動能力の向上 			<ul style="list-style-type: none"> ④保有する感覚の向上 ⑤感覚の補助及び代行手段の活用 ⑥感覚の特性 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ①視覚・聴覚・触覚等の感覚や認知の活用 ②知覚から行動への認知過程の発達 ③認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 			<ul style="list-style-type: none"> ④数量、大小、色等の取得 ⑤認知の偏りへの対応 ⑥行動障害への予防及び対応 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ①言語の形成と活用 ②受容言語と表出言語の支援 ③人との交互作用によるコミュニケーション能力の獲得 			<ul style="list-style-type: none"> ④指差し、身振り、サイン等の活用 ⑤コミュニケーション危機の活用 ⑥読み書き能力向上のための支援 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ①アタッチメント（愛着行動）の形成 ②模倣行動の支援 ③感覚行動遊びから象徴遊びへの支援 			<ul style="list-style-type: none"> ④一人遊びから協同遊びへの支援 ⑤自己の理解とコントロールのための支援 ⑥集団への参加への支援 			
家族支援		日常生活において本人の意思を大切にしながら、穏やかに過ごせる場面を増やしていくために本人のコミュニケーションや判断時の仕草等を個別支援の場面の観察や面談時などを通じてお伝えして共有する。			移行支援		日常的な連携に加え、特に行事等の際には説明の方法や促し方について共有する。必要に応じて関係機関との連絡と当事業所の連絡内容を相互に確認し日々の様子等の情報交換、情報共有を行う。	
地域支援・地域連携		関係機関と情報を共有し、日常生活や支援に活用するための具体策を提案する。各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面での本人との関わり方のポイントについて協議する。			職員の質の向上		月一回の対面研修とミーティングで療育の向上や理解を深める。	
主な行事等		定期的な農作業・収穫・子ども食堂との連携、課外活動（工場見学、動物園、体験）、季節行事、食事体験など						